

提言書

高速道路は、経済活動を支える重要な社会資本であるとともに、自然災害への備えを高める上で不可欠な基盤です。今回の能登半島地震でも、道路の被災により救命救助活動等に大きな支障を来しており、災害に強い道路ネットワークの重要性が改めて確認されたところです。

コロナ禍で甚大なダメージを受けた地域経済の復興及び国土強靱化を推進し、ストック効果を早期に発揮させるためには、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が重要となります。

このため、四国の総意として、次の事項について提言します。

- 一、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興及び、国土の安全・安心を守るため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保した上で、老朽化対策を含めて計画的に事業を推進すること
- 一、改正国土強靱化基本法に基づき、実施中期計画を早期に策定し、対策完了後も必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること
- 一、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向け、事業中箇所を整備を促進するとともに、開通時期を早期に提示すること
- 一、計画段階評価完了区間を早期に事業化するとともに、未実施区間の計画段階評価を早期に実施すること
- 一、有料の高速道路の良好なインフラを持続的に利用するため、料金徴収期間の延長による財源を活用し、更新事業等や暫定二車線区間の四車線化などの機能強化を着実に推進すること
- 一、高速道路の更なる利活用を促進し、地域との連携を強化するとともに、カーボンニュートラルを推進するため、ピンポイント渋滞対策の実施及びスマートICの整備、ETC専用化、休憩施設の機能強化等を推進すること

これらの項目を踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、高速道路ネットワークの整備や激甚化・頻発化する災害に備えた防災・減災対策、老朽化対策を長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和六年度予算では「8の字」をはじめ四国の道路整備に必要な予算を満額確保すること。

令和六年一月二十九日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会



四国経済連合会会長 佐伯 勇 人

徳島県知事 後藤田 正 純

香川県知事 池田 豊 人

愛媛県知事 中村 時 広

高知県知事 濱田 省 司

命の道

書一第冊